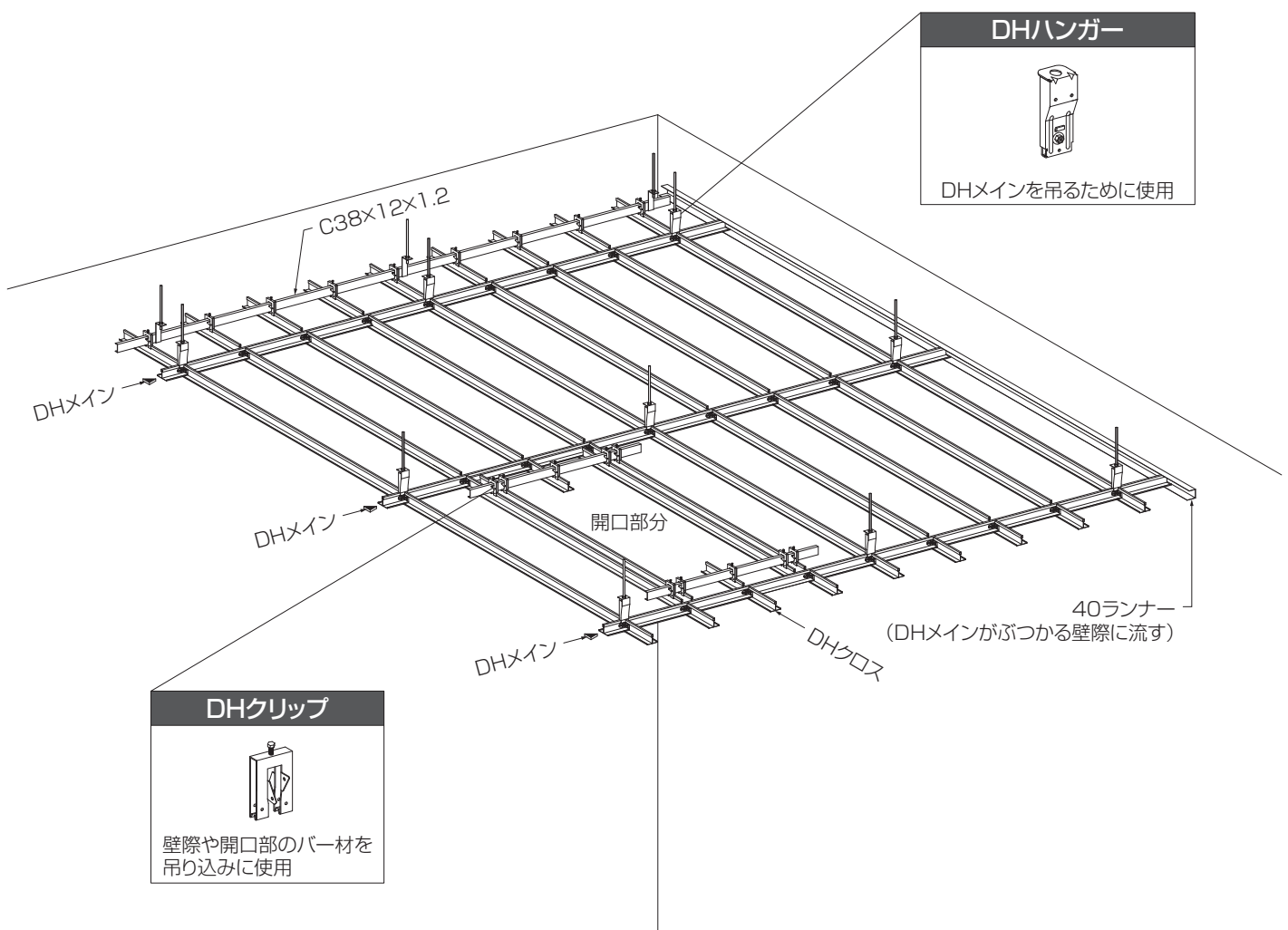


ダイケンハイブリッド天井

〈落下低減仕様〉



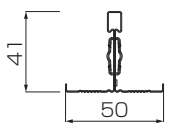
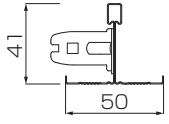

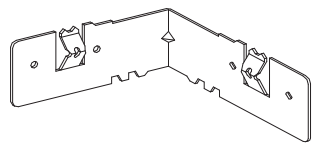
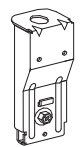
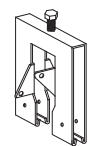
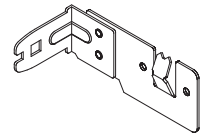
目 次

	ページ
1. 使用材料	
下地材	P3
2. 施工フローチャート	P4
3. 施工	
3-1 別途先行工事の確認	P5
3-2 墨出し	P5
3-3 吊りボルト・DHハンガーの取付け	P5
3-4 DHメインおよびDHクロスの取付け	P6
3-5 壁際等周辺部の施工	P7
3-6 レベル・通りの調整	P7
3-7 開口補強	P8～P9
3-8 検査	P10
〈参考〉 検査チェックリスト	P11
4. 施工上の注意事項	P12


1. 使用材料

1-1 下地材

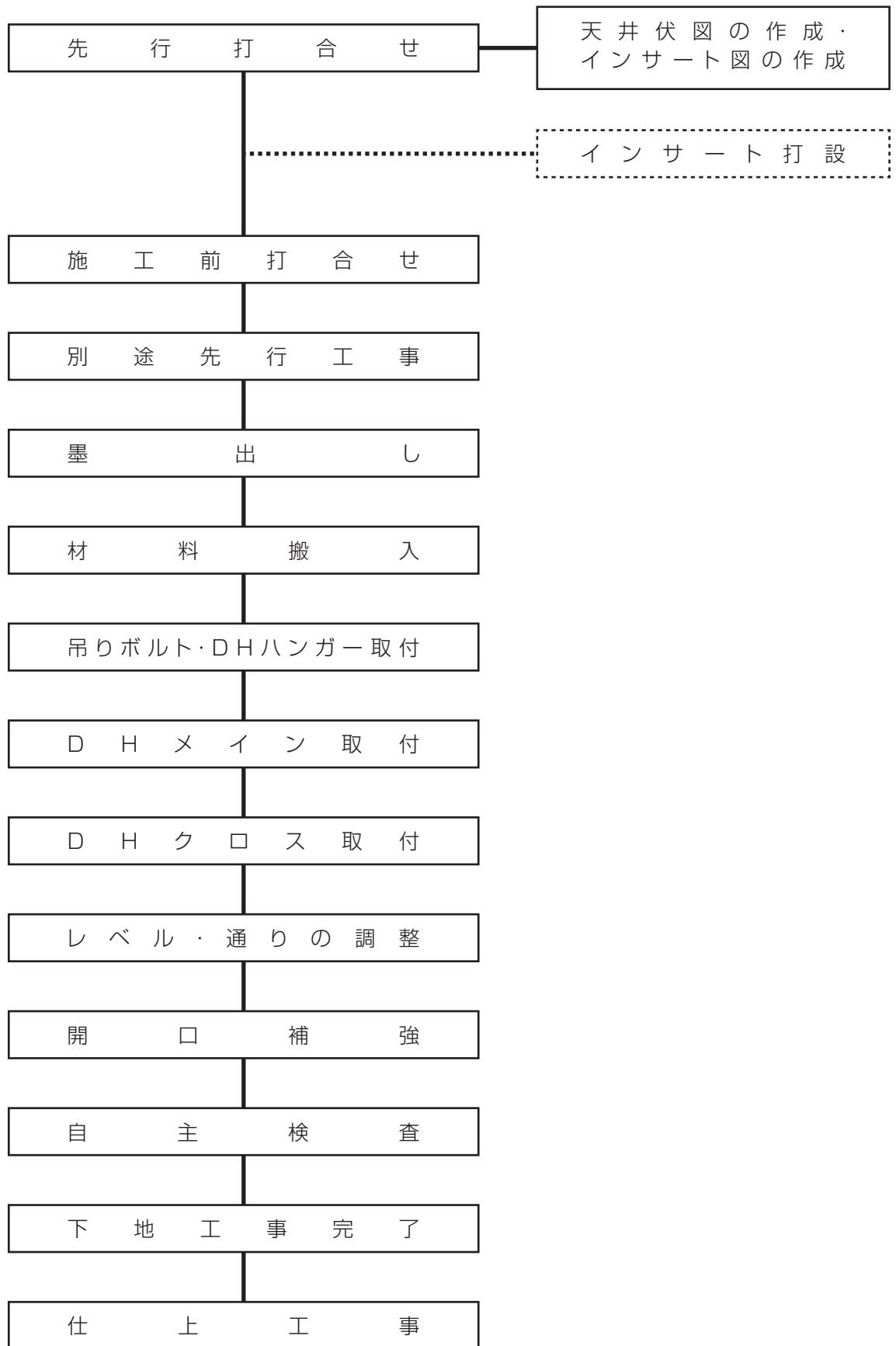
〔本体材料〕

部 品 名		部 品 図	入り数	品 番
DHメイン	スロットピッチ364mm L=3640		18本入り	TJA0101-0112
	スロットピッチ227.5mm L=3640		18本入り	TJA0101-0142
	スロットピッチ300mm L=3600		18本入り	TJA0101-0232
	スロットピッチ303.3mm L=3639.6		18本入り	TJA0101-0162
DHクロス	L=1200		33本入り	TJA0102-2112
	L= 900		33本入り	TJA0102-2212
	L= 910		33本入り	TJA0102-2312
	L=1800		22本入り	TJA0102-2413
	L=1820		22本入り	TJA0102-2513
DHストレートジョイント			120個入り	TJA0201-2
DHクロスジョイント			120個入り	TJA0202-2
DHハンガー			100個入り	TJA0203-2
DHクリップ	C38用		100個入り	TJA0204-013
DH爪金具			100個入り	TJA0206-2

〔その他〕

部 品 名	部 品 図	入り数	備 考
ビス φ4×16	—	—	ドリルタッピングネジ なべ頭
吊りボルト (W3/8)	—	—	—
ナット	—	—	—
調整ハンガー (C38用)	—	—	壁際吊込み用
C38×12×1.2	—	—	壁際吊込み及び開口補強用
40ランナー		—	壁際の仕上げ材留め付け用
かしめ金具	—	—	ジョイントを固定する道具
位置決め用ブレース	—	—	通りをとるためのブレースです

2. 施工フローチャート



3. 施 工

3-1 別途先行工事の確認

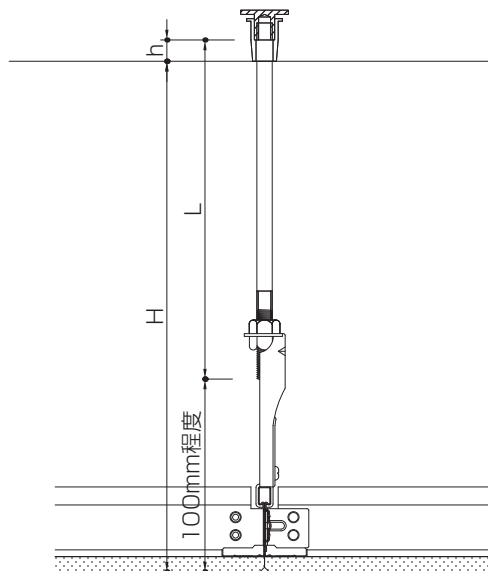
- ① インサートの位置を確認する。
所定の位置にない場所又は使用できない状態の場合は監督者に報告して打増ししてもらう。母屋吊りの場合は、必要な強度を有する吊り元が確保され、正しい位置にあるかを確認する。
- ② 壁面の確認
壁面は天井仕上げ面より100mm程度上方まで仕上げてあること。
- ③ カーテンボックス、シャッター等が取付け完了のこと。
- ④ 天井内設備工事（ダクト、配管等）が完了のこと。
- ⑤ 基準墨（返り墨、陸墨）が出ていること。

3-2 墨出し

陸墨を基準に天井高さもしくはDHメイン又はDHクロス取付け位置の高さに墨出しを行う。

3-3 吊りボルト・DHハンガーの取付け

- ① インサートの位置が図面通りかを確認する。吊りボルトは3/8ボルトを使用する。
- ② 吊りボルトの長さを次のように決める。（下図参照）
 $L(\text{吊りボルトの長さ}) = H - 100 + h$
- ③ DHハンガーをあらかじめ吊りボルトにセットし、セットした吊りボルトをインサートに完全にねじ込み、吊りボルトは垂直になるように修正する。

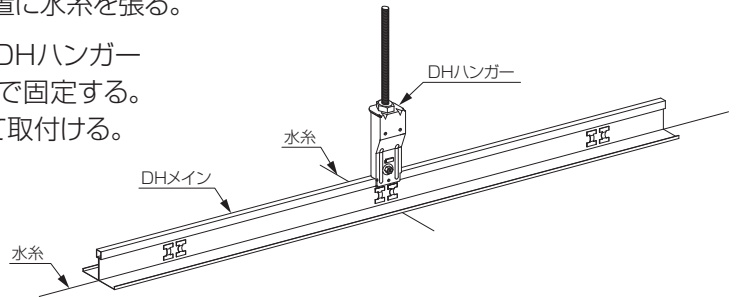


3-4 DHメインおよびDHクロスの取付け

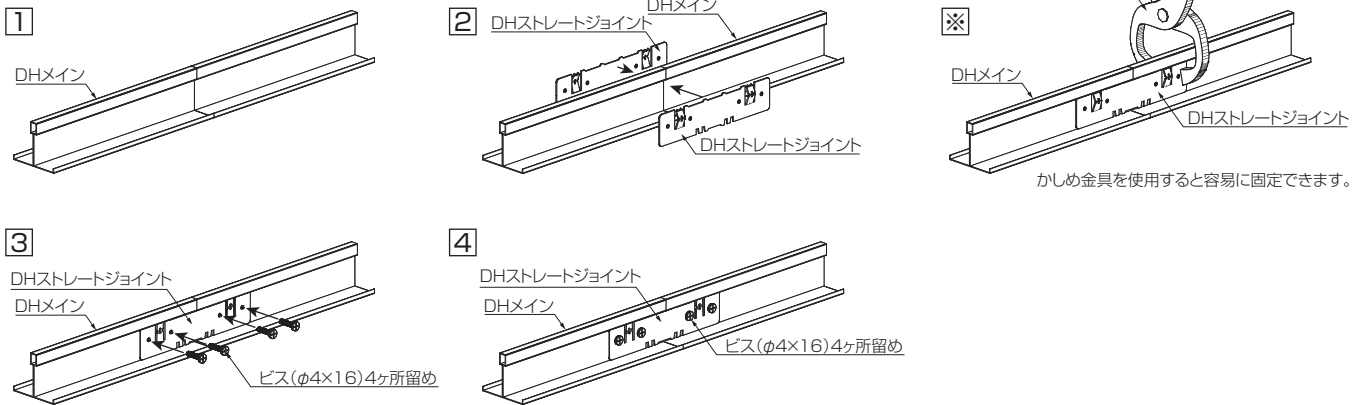
①DHメインの取付け

- ・基準とするDHメイン及びDHクロスの取付け位置に水系を張る。
- ・天井伏図を確認の上、あらかじめ取付けてあるDHハンガーにDHメインを、張ってある水系に添わせた位置で固定する。その際にDHクロスの差込位置も水系に合わせて取付ける。
- ・DHメインの直線接続はDHストレートジョイントにて接続する。
DHストレートジョイントは1ヶ所で2枚使用し、ビス(φ4×16)4本で固定する。

DHメインの設置

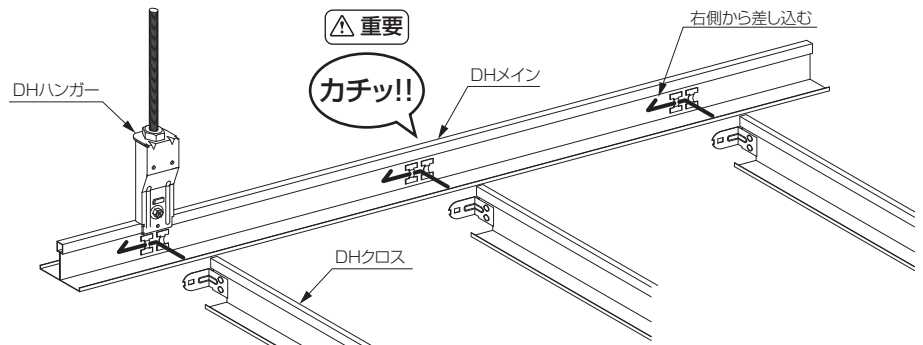


DHメインのジョイント



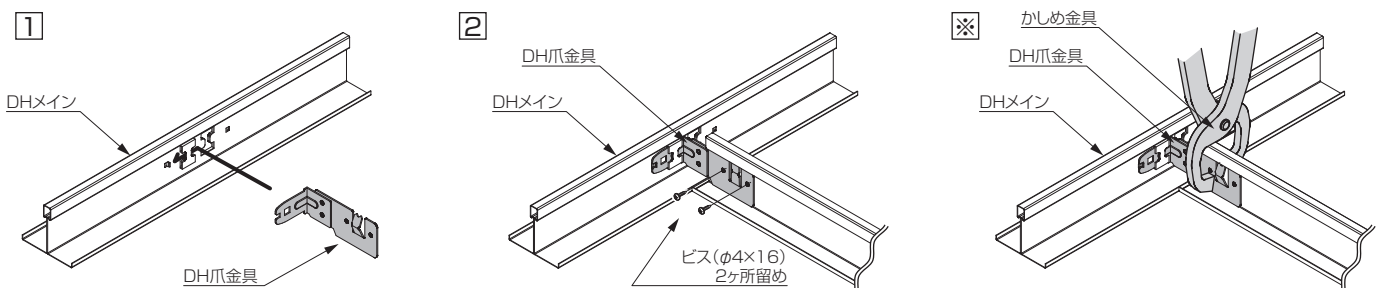
②DHクロスの取付け

DHクロスをDHメインの差込口に合わせてカチッと音がするまで差込み固定する。
(カチッと音がなります。)



※DHメインの配置間隔によりDHクロスが使用できない場合

- ・DH爪金具をDHメインの差込口にカチッと音がするまで差込み固定する。
- ・DHメインの間隔に合わせDHクロスの片側を切断する。
- ・DHクロスの切断していない側は通常と同様にDHメインに差込み、切断した側はあらかじめ取り付けられているDH爪金具に添わせビス(φ4×16)2本で固定する。



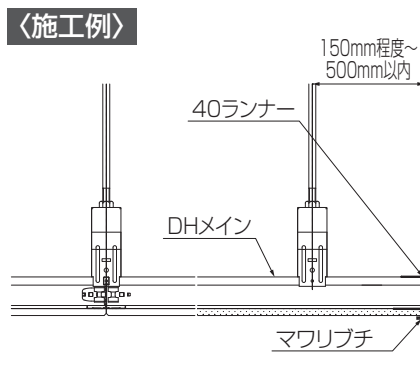
注) DH爪金具は、DH下部金具Cが取り付け部分には使用できません。

3-5 壁際等周辺部の施工

※壁際のクリアランスは設けないでください。

①DHメインと直交する壁際

あらかじめ取付してある40ランナーにDHメインを差し込む。
壁から標準150mm程度～500mm以内に、DHメインをDHハンガーにて吊り込みする。

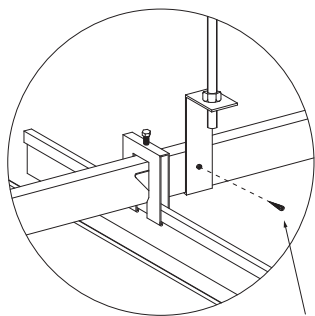


②DHクロスと直交する壁際

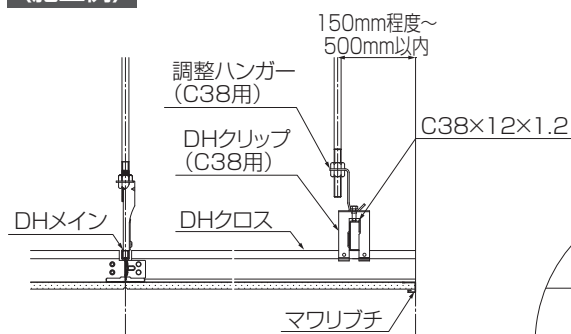
壁際のDHクロスを、壁から150mm程度～500mm以内に、壁に平行にDHクロス受けチャンネル(C-38×12×1.2)を流して、DHクリップにて全て吊り込みする。

※DHメインから壁際までが500mm以内且つ40ランナーを使用する場合は吊り込みは不要です。
調整ハンガーとDHクロス受けチャンネルは、ビス(φ4×16) 1ヶ所で全数留めつけする。
チャンネルの直線接続は、チャンネルジョイントを使用しビス(φ4×16) 2本で固定する。

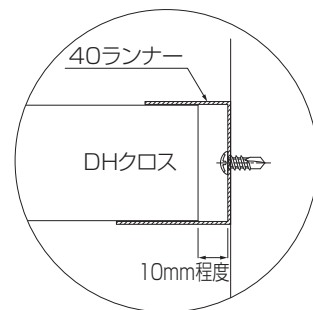
〈施工例〉



調整ハンガーへ1点
ビスにて留め付ける



※DHメインから壁際までが500mm以内且つ
40ランナーを使用する場合は吊り込み不要



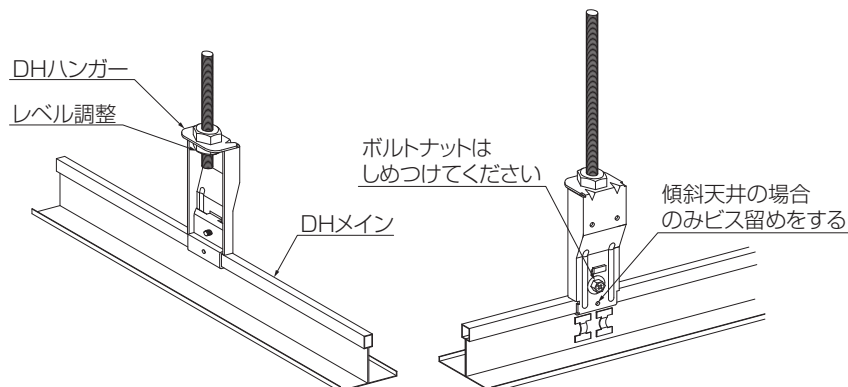
3-6 レベル・通りの調整

①DHメイン、吊りボルト下部のDHハンガーのナットによってレベル調整を行う。

②DHクロスと直交する壁際等端部のレベル調整は、DHクロス受けチャンネル(C-38×12×1.2)に取付けてある吊りボルト下部の調整ハンガーのナットによって行う。

尚、現在のレベル調整はレーザーを使用するケースが多くなっている。

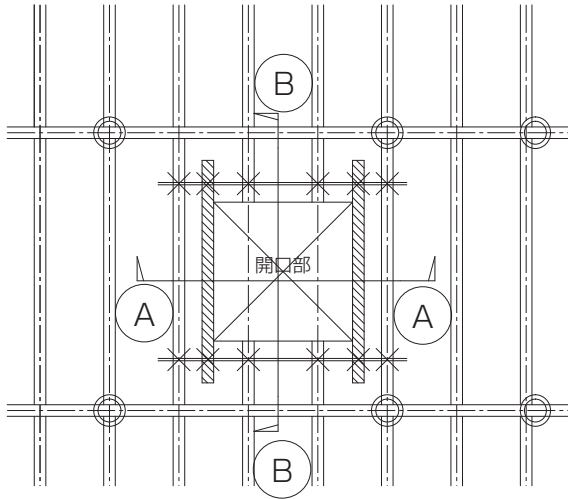
※位置決めブレース等を用意しておくとう便利です。



3. 施工 (続き)

3-7 開口補強

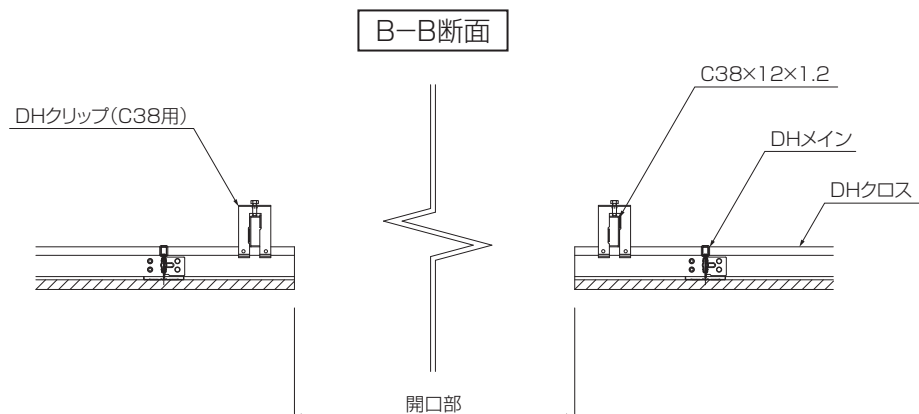
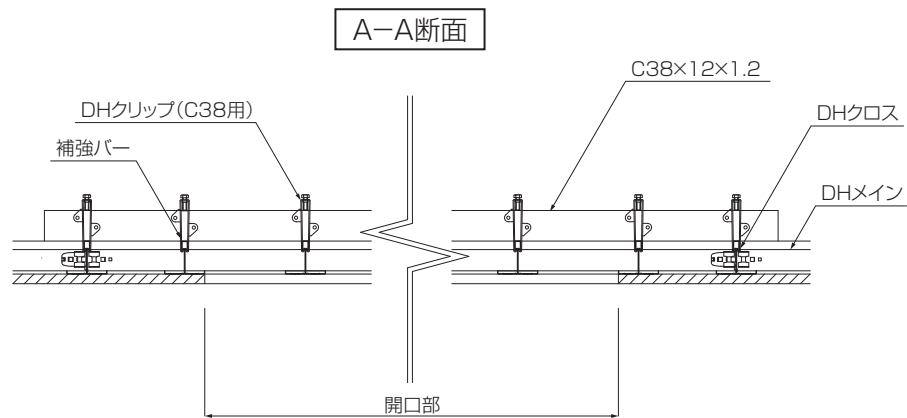
<DHメインが切断されない場合>



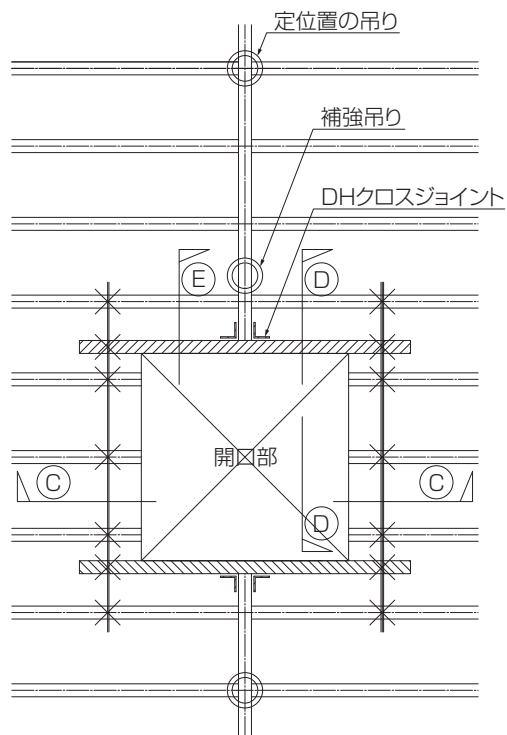
【凡例】

○	DHハンガー	——	補助チャンネル
×	DHクリップ	////	補強バー

- ①開口をあける部分のDHクロス上に補助チャンネル (C38×12×1.2) を通し、DHクリップで固定する。
- ②チップソーカッター等の工具で開口部のDHクロスを切断する。



〈DHメインが切断される場合〉

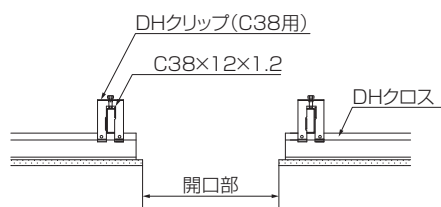


【凡例】

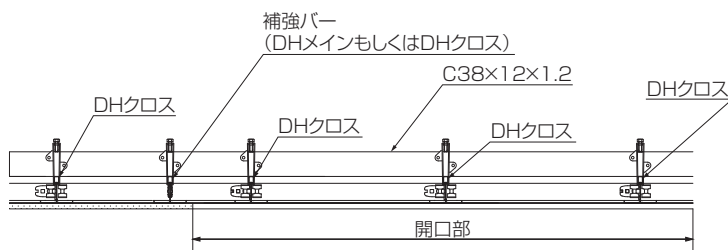
○	DHハンガー	——	補助チャンネル
×	DHクリップ	////	補強バー

- ①開口をあける部分のDHクロス上に補助チャンネル(C38×12×1.2)を通し、DHクリップ(C38用)で固定する。
- ②チップソーカッター等の工具で開口部のDHメインとDHクロスを切断する。DHメインの跳ね出しは500mm以内とし、超える場合は増し吊りする。
- ③補強バー(DHメインもしくはDHクロス)を補助チャンネルとDHクリップで固定する。
- ④切断されたDHメインと補強バーをDHクロスジョイントで固定する(跳ね出し150mm以内で増し吊りする場合は固定不要)。

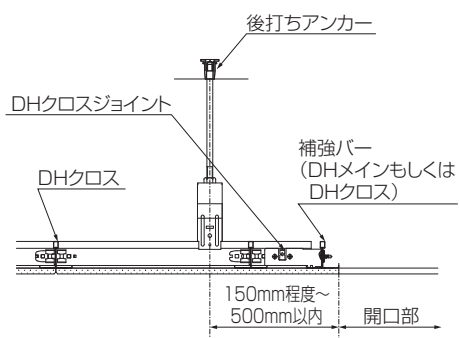
C-C断面



D-D断面



E断面



3. 施 工 (続き)

3-8 検 査

次ページの検査チェックリストにより検査を行う。

DAIKEN ダイケンハイブリッド天井 【 検査チェックリスト 】

建設会社名 ()

施工会社名 ()

現場代理人	品質責任者	検査者

年 月 日

物件名	部屋名	判定基準				判定 (○・×)	検査 日付	是正箇所	是正確認日	備考
検査部位		判定基準								
施工部材		ビス (φ4×16) は施工説明書に記載の仕様のものを使用しているか				／	／		／	
吊元 (インサート)		DHメイン、DHクロス、DHクロス吊元からのハネ出し寸法は500mm以内となっているか				／	／		／	
DHハンガー		吊りボルト、DHメインときちんと固定されているか				／	／		／	
DHメイン		DHメインを繋ぐためのDHストリートジョイントは1ヶ所に2枚使用し、ビス留め4ヶ所されているか				／	／		／	
DHクロス		所定の位置に固定されている (差し込まれている) か				／	／		／	施工図参照
		壁際のDHクロスを吊るためのC38は適切にビス留めがされているか (調整ハンガーに1ヶ所) 又、C38の直線接続にチャネルジョイントを使用し、ビス留め2本されているか				／	／		／	

4. 施工上の注意事項

ダイケンハイブリッド天井をご採用いただきましてありがとうございます。
この説明書には施工上の重要な項目が記載されています。本製品を長期間美しくかつ安全にお施様に使用していただけるよう、またトラブルのない確実な施工をしていただくためにも施工前に良くお読みいただき、以下のことを必ずお守りください。



施工上の禁止事項

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

- 下地材は室内用です。屋外の用途に使用しないでください。
- 天井に乗ったり、ぶら下がったりすると落下、脱落によりケガをすることがあります。
(危険な行為はしないでください。)
- 天井から物を吊るしたり、物を載せたりすると落下や脱落によりケガや、天井周辺を破損することがあります。
(所定の強度を有する構造にしてください。)



施工上の必須事項

施工のばらつきがないよう次の事項を必ずおこなってください。

- 下地材のく(軀)体への取付けやインサートとの接合は確実に堅ろうに行ってください。
- 配管、空調ダクト、空調機器、照明機具等と下地材とは、基本的に、それぞれ独立して取付けを行ってください。
- 下地材の部材接合部のボルト、ナット、ビスおよび固定金物などは確実に固定してください。
- 水平精度は、仕上げ材の施工に支障とならないよう適切に行ってください。



施工上の注意事項

搬入時や保管時について次のような事項に注意してください。

- 搬入時、資材の落下やずり落ちによるケガを防ぎ、腰を痛めないようにしてください。
(現場での小運搬は無理のないようにご注意ください。)
- 原則として、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。
(やむを得ず屋外に置く場合には、雨水等がかからないよう、確実な養生をしてください。)
- 製品は地面に直接置かず、水平なところに保管してください。積み重ねる場合は、局部荷重がかからないよう養生をして荷崩れを起こさないように保管してください。
- クレーン荷揚げ等の運搬に関しては、布製平型吊りバンドを使用するなど、製品の角や表面の損傷に注意してください。また、製品の上に重いものを乗せないでください。

取り扱い時について次のような事項に注意してください。

- 鋼材の先端は鋭利です。特に切断面は、手を傷つけやすいため、必ず軍手等の保護手袋を着用してください。
- 素肌の露出はケガをする恐れがありますので、素肌を露出しない服装で作業してください。

天井仕上材のダイロートンに関する施工上の注意事項については、弊社天井材のカタログを参照してください。

お問い合わせは

設計事務所様

東京 TEL 03-6271-7767
岡山 TEL 086-262-5601

建設会社様

東京 TEL 03-6271-7766
名古屋 TEL 052-205-5160
大阪 TEL 06-6205-7272
福岡 TEL 092-253-0123

受付時間：平日 9：00～17：30
(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

大建工業株式会社

DAIKEN のホームページアドレス <http://www.daiken.jp/>

190520-DO-42S